

高校入試問題解答

国語

- 1 (1) ウ (2) イ (3) 設備や相手が要らず、いつでもどこでも愉しめる点。(例)
(4) はじめ…時間をもて・終わり…っている人(完答) (5) イ (6) エ (7) 5

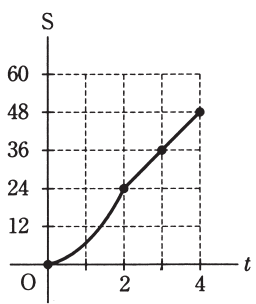
- 2 (1) ウ (2) a (3) 〈工〉
(4) 歴史 (5) ウ (6) すでにこの (7) 夫の部屋を今と同じようにさせること。(例) (8) イ

- 3 (1) ア (2) 住みよい〔住みやすい〕 (3) エ (4) ア (5) ウ
(ヒント)

- 1 (1) 傍線Aは「賛同する者」、ウは「私有する地」という意味なので、「○○+○」という構成である。ア・エは「○+○○」、イは「○+○+○」という構成である。
- (2) 「ない」には、打ち消しの助動詞と、形容詞がある。助動詞の「ない」は、打ち消しの助動詞「ぬ」に置き換えられるが、形容詞は置き換えられない。傍線Bとイは、「ぬ」に置き換えられるので、助動詞の「ない」である。ア・エは置き換えられないので、形容詞の「ない」である。ウは「味気ない」という形容詞の一部なので、注意が必要である。
- (3) 読書が「便利な娯楽」である点について、1段落では、碁や野球と比較して、「読書の方は、……いつでもどこでもできる」と説明している。したがって、この一文の内容を制限字数内にまとめればよい。同趣旨可。
- (4) 傍線Dは、読書の^{たの}しみを知らない人のことである。5段落で筆者が読書の楽しみは無限なので、「時間をもて余して……はありません」と述べていることに着目する。
- (5) 3段落の最後の「互いに他を^{かわ}補うので、……一方が他方に代るのでもありません」から考える。これは活字情報では足りない部分を、「オーディオ・ビジュアル」の情報が補うということ。アやエのような内容は本文にないので、不適切。ウは3段落の最後の一文と合わないので、不適切である。
- (6) 傍線Fの三行あとに「対象を移して^{ひろ}好奇心の満足を^{ひろ}拡げてゆく」とある。好奇心の対象は「数限りなくある」ので、それにともなって無限に「満足」を得られるということ。
- (7) 5段落の「それでは読書そのものに、どういう種類の^{たの}しみが伴うでしょうか」に着目する。この問題提示に対する答えは、次の行に「知的好奇心のほとんど無制限な満足」と述べられ、それ以降でその具体的な内容が説明されている。
- 2 (1) 「雨露をしのぐ」は「雨や露を防いでこらえる」、アは「恵みの雨」、イは「美味なこと」、エは「屋根のない地面」という意味。
- (2) aは「名詞+格助詞」である。ほかはすべて「一だ」や「一な」と形が変化するので、形容動詞である。
- (3) 抜けている段落の「それ」が何を指しているのかを考えて探す。「それ」は家の注文に関することで、「第三者が……なかった」から、第三者の評価だとわかる。よって、〈工〉の直前の業者の言葉である「^{たの}妙な間取り」を指しているとわかる。
- (4) 筆者は懸命に^{かき}柿の木を守ろうとしている。それは、四十年にわたる家族との思い出が、その柿の木に集約されているからである。そうした思い出と同じ時間の積み重ねを表す言葉として、最後から二行目に「歴史」とある。
- (5) 妻である筆者に触れさせなかったほど、「夫は^{かき}部屋をかぎりなく愛していた」のである。「山の支度はすべて、自分で整理していた」ともある。ここから、筆者の夫は自分が過ごす空間に特別な思いを抱いていたことが読み取れる。
- (6) 十二行目に「すでにこの世にいない夫」とあり、筆者の夫はもう亡くなっていることが読み取れる。それでもなお、その部屋をなるべくそのままに保存しようとしているところに、夫婦の結びつきの強さを感じられる。
- (7) 「細心の注文」をするために、^{かき}夫の部屋を写真に収めていることから考える。夫の部屋を詳細に描写していることから、筆者が新しい家でも夫の思い出をそのまま保存したいと考えていることが読み取れる。
- (8) 新しく建てることになった自分の家の準備について話をすすめているが、文章のテーマは、家族、特に^{かき}自分の夫に対する思いについてである。アは「ともすると忘れがちになる」、ウは「古い時代に……名残」がそれぞれ不適切である。エは、この文章は「家を建て替えるときにつきまとう^{くにもと}困難さ」を中心に述べられたものではないので、不適切である。
- 3 (1) Aは国基に「今夜ばかりはここにとどまり給へかし」と言われた人物なので僧正。Dは、「かの寺」は天王寺を指すので、「天王寺の別当」となった人物で、僧正。Eは天王寺の別当の「御前へめされ」た人物なので、国基だとわかる。
- (2) 「すみよし」は、地名の「^{すみよし}住吉」と、「住み良し」という二つの意味がかけられた^{かけこぼ}掛詞である。
- (3) 「かは」は反語表現であり、「～だろうか、いや～ではない」という意味。ここでは、国基の家に泊まることができようか、いやできないということ。その理由は「世をすてて……身にしあれば」とある。つまり「諸国修行」をしている最中だったからである。
- (4) 「あのすみよしとてもとまるべきかは」とは、僧正がかつて^よ詠んだ和歌を指している。「いかに」は「^{てんのうじ}どうでしたか」という意味。僧正はこのように言うことで国基に、自分が面識のある者であることを示そうとしたのである。
- (5) 直前の「^{くにもと}あきれまどひて(=ひどく驚いて)」に着目して、国基が驚いた理由を読み取る。

数学

① (1) $\frac{9}{2}$ (2) -1 (3) $\frac{5x-4y}{3}$ ② (1) 10 (2) 8 (3) 105度 (4) $\left(\frac{a+2b}{3}\right)\%$ ③ 8cm

④ (1) 6 (2) $0 \leq t < 2$ のとき, $S=6t^2$, $2 \leq t \leq 4$ のとき, $S=12t$ (3)  (4) $\frac{10}{3}$ 秒後

⑤ (1) $a = -\frac{1}{3}$ (2) -1

⑥ (1) $y = -x + \frac{3}{2}$ (2) $C\left(1, \frac{1}{2}\right)$ (3) 3

⑦ (1) $\frac{1}{16} < a < 2$ (2) $a = \frac{9}{20}$ (3) 11 : 17

⑧ (1) $x = -3, 2$ (2) $x = 3, -1$ (3) $x = -4, 1$

⑨ (1) $b = \frac{1}{2} - a$ (2) $2a(x-4)(x+3)$ (3) $(a+5)(a-4)$

⑩ (1) $\begin{cases} x = y + 9 \\ \frac{12}{60}x + \frac{10}{60}y = 26 \end{cases}$ (2) $\begin{cases} x = 75 \\ y = 66 \end{cases}$ (3) $\begin{cases} \text{A, B間の距離}\cdots 15\text{km} \\ \text{B, C間の距離}\cdots 11\text{km} \end{cases}$

⑪ (1) $a = -8$ (2) ① 3 ② (2, 2) (3) ① $C(-12, 0)$ ② $y = -x + 6$

⑫ (1) $\frac{1}{2}$ 倍 (2) $\frac{5}{6}$ 倍 (3) $\frac{2}{3}$ 倍 ⑬ 2個

⑭ (1) 1 (2) $y = \frac{1}{2}x + 2$ (3) A(8, 16) ⑮ 順に, 9, $\frac{5}{9}x^2$, 9, $5x$

⑯ (1) $\frac{1}{10}$ (2) 3 (3) $a = \frac{1}{3}$ (4) 2, 3, 4

(5) $\frac{(4-x)(6-x)}{2} = 4, 2\text{cm}$ または, $\frac{(4-x)(6-x)}{2} \times 3 \times \frac{1}{3} = \frac{6 \times 4}{2} \times 3 \times \frac{1}{9}$

英語

① イ キ

② (1) イ (2) ウ (3) ア

③ (1) エ (2) ウ

④ (1) エ (2) ア (3) ウ (4) エ

⑤ (1) chair (2) writing (3) newspaper

⑥ (1) Let's play volleyball this afternoon. (2) What flower do you like the best? (3) Have you ever been to Shikoku?

⑦ (1) better (2) it (3) was, built (4) likes

⑧ (1) morning (2) village (3) children (4) together (5) already (6) country

